

報道関係各位

会社名 株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント
代表者名 代表取締役社長 鳥越 慎二
(JASDAQ コード 8769)

東京大学、アドバンテッジ EAP を活用し職員のメンタルヘルスケア体制を強化

株式会社アドバンテッジ リスク マネジメント(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:鳥越 慎二、以下 ARM)と、東京海上日動メディカルサービス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:矢野 孝明、以下 TMS)が共同で提供する企業向けメンタルヘルスケア支援プログラム『アドバンテッジ EAP』を、国立大学法人東京大学(以下 東京大学)が同大学の職員を対象に 2010 年 12 月 20 日より導入を開始いたしました。

『アドバンテッジ EAP』では、大学内の産業保健体制との連携の下、職員のストレスチェックや相談カウンセリングによる「早期発見・早期対応」を重視した個人への取り組みを行うと共に、職員のストレス特性を踏まえた上での組織分析を活用した組織改善施策の実施を支援することで、休暇取得者等の低減や生産性向上と組織の円滑な運営を目指します。

今後は、一般企業とは異なる側面も持つ大学という業態を踏まえた、さらに進化させた「アドバンテッジ EAP」サービスの提供を目指します。

導入サービスの内容と特徴

『アドバンテッジEAP』は、ARMとTMSが共同開発した、メンタル不調者の早期発見・早期対応を重視する国内最大級のEAPです(2010年3月末現在、約120社、29万人が利用)。待受型の相談窓口を設置することが主体である一般的なEAPとは異なり、『アドバンテッジEAP』は以下の内容が特徴です。

- ① 定期的な“ココロの健康診断 eMe”実施による職員のストレスやメンタルヘルス状態の分析・評価。
- ② “ココロの健康診断 eMe”結果に応じて、精神科医や臨床心理士が個別にアプローチし、カウンセリングや医療への誘導を促す能動的サポート。
- ③ 臨床経験ならびに産業分野での経験豊富な臨床心理士による質の高いカウンセリング。
- ④ 職場のストレス要因、組織環境や組織風土の分析に基づいた改善策のアドバイス。

【株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメントについて】

「『安心して働ける環境』と『活力ある個と組織』を共に創る」を企業理念に、先進的な人事ソリューションを提供しています。GLTD 分野では、国内トップシェアの延べ30万人への導入実績を有するほか、メンタル疾患による休業の急増に対応するため、2002年より職場におけるメンタル疾患早期発見・早期対応プログラム「アドバンテッジ EAP」を東京海上日動メディカルサービス株式会社の精神科医と共同で開発し、29万人に活用されており、グループ全体では75万人が利用する国内最大のメンタルヘルスサービスプロバイダーとして、企業向けにメンタルヘルスに関する総合的なサービスを提供しています。2010年7月には株式会社イー・キュー・ジャパンよりEQ事業を譲り受け、EQ(感情能力)に関する検査・教育研修・組織分析サービスを通じて、新たに人材採用・教育分野におけるサービスも拡充しています。

【東京海上日動メディカルサービス株式会社について】

東京海上日動メディカルサービス株式会社は、1987年の創立以来、優秀な医師等の医療専門家を擁し、医療・健康分野で事業展開をしている企業です。近年ではトータルヘルスケアコンサルティング企業として、社会の環境変化やお客様のニーズに応じて新たな事業領域や高品質な商品・サービス開発にチャレンジしています。特にメンタルヘルス領域においては、「アドバンテッジEAP」をはじめとする各種サービスで、精神科医を中心とした専門チーム(臨床心理士等)が働く方と組織のメンタルヘルスマネジメントをサポートしています。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント <http://www.armg.jp>

広報担当 : 熊澤 一晃 菊田 卓

TEL:03-5794-3807 FAX:03-5794-3909

以上